

2章．さぬき市の目指す都市づくり

1．まちづくりの基本理念、さぬき市の将来像（さぬき市総合計画基本構想）

さぬき市都市計画マスタープランの上位計画である「さぬき市総合計画基本構想」は、個性を発揮した活力あるさぬき市となるために、市の財政基盤が安定し、市民が豊かできいきと暮らせるよう、あらゆる面で自立できることを基本におき、まちづくりの基本理念を「自立する都市」、さぬき市の将来像を「人いきいき 親自然・真健康・新創造」としています。

市民が安定して働ける労働環境の充実、地場産業をはじめとした産業の振興、新しい魅力ある産業の創出に力を注ぎ、定住の基礎となる産業基盤を確立し、効率的で力強い都市経営基盤をつくり、市民の市政への参画により、市民と行政が協働して取り組む自主と自立の市民自治の確立を目指しています。

また、まちの基盤づくりとともに、次代を担う子どもたちが心豊かにたくましく育ち、市民がいきいきと、健康で安心して暮らせる地域社会と、健全な環境を守りながら快適に暮らせる地域社会づくりを目指しています。

まちづくりの基本理念
「自立する都市」

さぬき市の将来像
「人いきいき 親自然・真健康・新創造」

まちづくりの基本目標

- 1．自立基盤づくり まちの活力を生む自立基盤づくり
- 2．仕組みづくり 市民の連携を築く仕組みづくり
- 3．人づくり 健康で心豊かに自立する人づくり
- 4．環境づくり 自然に恵まれ安心快適に暮らす環境づくり

さぬき市都市計画マスタープランでは、このようなさぬき市総合計画基本構想におけるまちづくりの基本理念、さぬき市の将来像を継承していくものとします。

2. 都市づくりの目標

さぬき市総合計画基本構想に掲げるまちづくりの基本理念、さぬき市の将来像の実現に向け、市全体として取り組んでいく中で、都市計画の視点から都市の姿を展望した場合に想定される目標としては、さぬき都市計画区域マスタープランに掲げられた、以下の目標を目指していくものとします。

都市づくりの目標
ネットワーク型の都市構造による、職住が近接した
緑住タウンの形成を目指す

3. 都市づくりの基本軸

まちづくりの基本理念、さぬき市の将来像の実現に向けて、都市計画として将来どのように都市づくりを目指すのか、都市整備の上の課題も踏まえ、中心となる（重点をおく）都市づくりの考え方（基本軸）を以下のように設定します。

基本軸1 ふるさと田園地域と調和した、まちの活力を生む都市の骨格の形成

市民が住み働き、活気のある多様な働く場があるまちづくりを目指します。

そのため、都市間の広域的な交流・連携を担う自動車専用道路、主要幹線道路、幹線道路をいかした都市基盤整備を進め、都市の発展を支える骨格形成を図ります。

また、観光と結びついた農業振興や地域資源をいかした農林水産業の活性化にも焦点をあて、ふるさと田園景観の保全との共存が図られる新しい活性化の方向を目指します。

特に、ため池や田園の広がるのどかな田園風景、山すそに広がる里山景観を保全し、市街地と農地の調和を図り、市民のふるさと意識のベースとなっている田園景観保全に配慮していきます。

基本軸2 秩序ある高質な市街地の形成

まちの魅力として、地域の自然をいかしたうるおいあるまちづくりや、高齢社会に対応した安心して住み続けられるまちづくり等、良好な居住地・定住地としてふさわしい都市環境形成を目指します。

そのため、各地域の市街地特性や課題に応じた計画的な市街地環境の整備を推進

し、福祉、教育、文化、商業等の生活を支える機能が適切に集約的に配置された効率的で効果的な都市基盤の整備を目指します。

また、市街地内の水辺、公園緑地等の充実を図り、市街地内においても豊かな緑やうるおいのある水辺、生きもの等を身近に感じられるまちづくりを目指します。

さらに、環境負荷の軽減、自然的環境との共生、快適な環境の創出等により、良好で質の高い都市環境の形成を目指します。

基本軸3 美しいうるおいのある水・緑の骨格の形成

まちの資産である豊かな自然環境・景観を保全し、次世代に継承していくため、水・緑の骨格を位置づけ、積極的な自然環境保全・景観保全を推進します。

そのため、北部の海岸部及び山地丘陵の自然は瀬戸内海一帯の景観保全として重要であるとともに、市街地に隣接し、市街地の景観を構成しうるおいを与える緑でもあるという位置づけを明確にしその保全を図ります。

また、南部に広がる森林地域の自然は、讃岐山脈に連なる広域的な環境保全系統の緑の骨格を形成していく一翼を担っているという位置づけを明確にしその保全を図ります。

さらに、自然とのふれあいや憩い等自然を肌で感じられるような自然との交流や、歴史資源も含め一体的に楽しめるような連携のとれた自然環境の保全活用を図り、市民が身近に自然に親しめる環境づくりを進めます。

4．将来都市構造

さぬき市の将来像や都市づくりの目標の実現に向け、将来都市構造のあり方を以下のように設定し、都市づくりを進めていきます。

(1) 都市軸

広域連携軸（自動車専用道路軸）

- ・ 四国各県の主要都市を結び、広域的な交流・連携を担う軸として、四国横断自動車道(高松自動車道)を位置づけます。

都市間連携軸（主要幹線道路軸）

- ・ 広域連携軸（自動車専用道路軸）と連携し、都市間の広域的な交流・連携を担う軸として、また、本市の東西方向の都市骨格を形成する軸として、北部、中央部、南部にそれぞれ、国道 11 号、県道高松志度線（延伸を含む）、主要地方道三木津田線(一部改良含む)、主要地方道高松長尾大内線、国道 377 号を位置づけます。

都市内連携軸（幹線道路軸）

- ・ 都市間連携軸（主要幹線道路軸）を補完し、市内各地域間、拠点を相互に結び連携を担うべき軸として、また、本市の東西方向及び南北方向の都市骨格を形成する軸として、東西軸（県道三木寒川線）、志度 - 長尾間の南北軸（主要地方道志度山川線）、志度 - 寒川間の南北軸（県道石田東志度線（主要地方道高松長尾大内線まで一部改良延伸含む））、鴨部 - 寒川間の南北軸（県道富田西鴨庄線から県道石田東志度線につながる路線）、鴨部 - 大川間の南北軸（県道富田中鴨部線から県道富田西鴨庄線につながる路線）、津田 - 大川間の南北軸（県道富田中津田線、主要地方道津田川島線）を位置づけます。

鉄道軸

- ・ 都市間を結ぶ公共交通を担う軸として、JR 高徳線及びことでん志度線、長尾線を位置づけます。

水辺アメニティ軸（主要河川軸）

- ・ 水と緑のうるおいある環境を形成する軸として鴨部川、津田川を位置づけます。

(2) 拠点

都市拠点

- ・ 商業・業務・行政等の高次の都市機能を担う拠点として、「志度駅周辺地区」を位置づけます。

近隣拠点

- ・身近な地域において、商業・福祉・生活サービス等における近隣サービス機能を担う拠点として、「JR 讃岐津田駅周辺地区」、「大川支所周辺地区」、「寒川支所周辺地区」、「長尾支所周辺地区」を位置づけます。

産業拠点

- ・先端産業の立地や既存産業機能の高度化等により、本市の産業活動を先導する拠点として、「志度臨海工業地区」、「志度末工業団地地区」、「高松東ファクトリーパーク地区」、「東香川食品産業ファブリック地区」を位置づけます。

流通拠点

- ・高松自動車道インターチェンジの高速交通結節点機能をいかして流通活動を先導する拠点として、「津田東インターチェンジ周辺地区」、「津田寒川インターチェンジ周辺地区」、「志度インターチェンジ周辺地区」を位置づけます。

文教拠点

- ・徳島文理大学香川校、志度音楽ホール等をいかして、教育・文化活動を先導する拠点として、「志度中央地区」を位置づけます。

レクリエーション拠点

- ・自然に親しむ広域的なレクリエーション拠点として、「琴林公園（津田の松原）」、「みろく自然公園」、「大串自然公園」、「門入の郷」、「亀鶴公園」を位置づけます。

(3) ゾーン

森林ゾーン

- ・北部及び南部に広がる森林地域を緑豊かな自然の保全とふれあいを図るべきゾーンとして位置づけます。

田園ゾーン

- ・市中央部に広がる田園地域を、田園環境の保全と集落（生活）環境との共生を図るべきゾーンとして位置づけます。

市街地ゾーン

- ・志度の市街地、津田の市街地、及び主要地方道高松長尾大内線沿道の市街地を、都市的土地利用の集積を図り、良好な都市環境の備わった秩序ある高質な集約的市街地形成を図るべきゾーンとして位置づけます。



<将来都市構造図>